

総務常任委員会

長野県千曲市「5月28日」

▼有料広告収入

千曲市では、厳しい財政状況を踏まえ、平成19年2月から有料広告事業を実施した。財政改革の一環を担う事業には至っていないが、「自主財源確保に対する市の姿勢を市民に示すことができた。」という。

岩沼市でも有料広告事業が始まるが、自主財源確保とともに、地元工業の活性化のためにも独自の方法を検討していくべきである。

◎ほかの調査地

栃木県塩谷広域行政組合「5月26日」

▼広域行政

茨城県古河市「5月27日」

▼入札制度

教育民生常任委員会

兵庫県姫路市「5月12日」

▼子育て支援

姫路市では、平成10年に「姫路市子育て支援計画」を



姫路市議会にて調査

報告書まとまる

委員会の行政調査

策定している。

子どもから高齢者まで幅広い人たちが利用でき

る、複合施設「すこやかセンター」を建設し、施設内にファミリーサポートセンター事業を開始して援助活動が年々増加している。

岩沼市でも（仮称）南部地区総合福祉施設」にファミリーサポートセンターを計画中だが、施設のあり方や運営を十分に検討することが必要である。

◎ほかの調査地

兵庫県川西市「5月13日」

▼温暖化対策

兵庫県篠山市「5月14日」
▼図書館行政

建設産経常任委員会

愛知県豊橋市「5月20日」

▼浸水対策

豊橋市の浸水対策は、従来の排水施設を残したまま新たな排水ルートを掘削することで、短期間に問題を解決した。

推進工法（トンネルみたいなもの）という斬新な工事方法を導入したことで、住民から高い評価を得ている。

岩沼市でも、近年、住宅地が増え、ゲリラ豪雨に対応しなければならぬ箇所は確実に増えている。すべてを解消することは困難だが、重要な箇所は早急な対策が必要で、推進工法はその対策の一つである。

◎ほかの調査地

愛知県半田市「5月19日」

▼中心市街地活性化対策

大阪府茨木市「5月21日」

▼耕作放棄地対策

議会運営委員会

福島県会津若松市「8月5日」

▼議会基本条例

会津若松市議会が基本条例を作ったのは、正副議長が議会改革を訴えたのがきっかけ。検討に約1年、条例を施行して1年を経過していた。

最大の特徴は、議会に政策形成機能を持たせた点。このため市民との意見交換会や政策討論会を開催するなど、政策形成サイクルを確立させた。議員の活動はかなり忙しくなったという。岩沼市議会は、来年4月の施行を目指している。

◎ほかの調査地

新潟県新発田市「8月4日」

▼議会基本条例



会津若松市議会にて調査

編集後記

市議会だより（第107号）発行に向けて開いた編集会議は9月2日でした。初の会議では、発行スケジュールの調整、掲載内容の企画、表紙や各ページの担当割り振りを協議します。

初会議から約2カ月。その間、情報化対策特別委員会に所属している9人の委員の編集作業が続きます。記事の執筆や原稿整理、紙面の割り付けや校正など。2度目の会議意見がすばしば

が開かれるまで、各委員の作業光景は、お互い目にすることはありません。この会議で、各委員から、作業過程で苦心、配慮、工夫した点が語られます。苦心したからといって、そんな原稿を承認するわけではありません。「この記事で何を伝えたいの?」「古い情報でなく新しい情報を!」意見がすばしば。書き直しもしばしばです。10月28日の発行前まで編集が続きました。

情報化対策特別委員会